

事業承継を見据え、“強みの掛け合わせ”で新たなチャレンジへ

株式会社 松原工務店／吉賀町商工会

- 業種 建築業
- 住所 島根県鹿足郡吉賀町七日市986-1
- 電話番号 (0856) 78-0176
- ホームページ 「松原工務店」で検索
<http://www.matsu-km.jp/>



私は

『経営革新計画と島根県事業承継新事業活動等支援補助金』
 を活用しました！

人生の中でも特別な買い物である“家”。その新築工事を伝統構法・木造軸組み工法で手掛ける取締役の松原さんは、「一つ一つ積み上げて、完成に近づいていくのが良いですね」と照れつつも、仕事で感じる楽しさを教えてくださいました。幼少の頃から材木や重機が傍にあり、事業を営む叔父や父の姿を見て育ち、県内の短期大学の卒業と同時に入社。図面や材料、職人が使う言葉に慣れず、必死に見て覚えた当時から令和4年で15年目を迎え、今は後継者として会社の未来を見つめる松原知毅さんにお話を伺いました！

取り組みのきっかけはなんですか？

世代交代も含めて当社の事業と、今後の市場の動きを見ると、町の小さな工務店が建築業一本で生き残っていくことは難しいのではと懸念を抱いていました。そこで、培ってきた技術とノウハウ、保有資格を活かして新たに不動産業へのチャレンジを考え、商工会の古川さんへ相談しました。

商工会からどのような支援を受けられましたか？

既存事業の強みを活かし、新たな取り組みを展開するという流れで、この二つの制度を勧めて頂きました。新事業の計画を立てる中で、“現場”に重きを置いてた自分には、これから“経営”という視点を持って会社全体を見ていく必要があるということを知り、古川さんに気づかせてもらいました。

取り組みの成果・効果を教えてください！

新たに開始する不動産業のPR および認知向上として看板を設置し、お客様が安心して相談できるように専用スペースを整えました。実際に看板を見てお問い合わせを頂くケースが増え、徐々に動き出しています！古川さんのアドバイスから、経営において特に“数字”を意識するようになり、今後予定している事業承継に備えて、経営の本質を学んでいるところです。更に事業を発展させるためにはインスペクション（既存住宅状況調査）へ注力することに加えて、人材の確保・育成が課題であると今は考えています。

古川 正樹（経営指導員）

地域における企業の役割を十分に理解されており、商工会青年部活動において“経営の本質”を積極的に学んでおられます。

また、自社の未来を見据え、各種制度を積極的に活用し経営基盤の強化に取り組まれています。

地域を牽引する若手経営者として期待しています！



取締役 松原 知毅さん

商工会には本当にお世話になっています。青年部の活動内容も本業にとってプラスになるようなものへと変化しつつある中、同じように自営業を継いで、地元で頑張っている同級生の姿にも刺激を受けているところです。古川さんは頼もしい存在なので、これからも色々なことを教えてください！！